

公設公営保育園が果たす役割 検討項目一覧

公設公営保育園が果たす役割		検討項目
1 保育行政を担う人材の育成	I 知識・経験・ノウハウ・理念等の継承	ベテラン保育士による保育士等への研修
		シミュレーション研修での知識・技術の伝達 マネジメント力の向上 キャリアパスの作成⇒実施 キャリアアップ研修の開催検討
	II 現場実践に基づいた支援を担える職員の育成	保育園職員の他課への異動による知識習得の検討 他課への異動により得た知識・技術内容の共有化 ケース会議の検討結果に基づく対応 事務の効率化・事務職員の配置検討
		III 保育所の評価・監査・指導及び施策の立案等を担う職員育成 IV 西東京市の保育行政の中心となる人材の育成
2 地域全体の保育の質の確保・向上の支援	I 民間保育施設との連携・交流促進	保育参観の実施の検討 合同保育の実施による子どもと職員の交流の検討 保・幼・小連携体制の確立検討 (仮称) 総合園の創設の検討
		II 公立保育園の保育士による相談対応(情報の提供・助言)、必要に応じた地域型保育事業所等への専門職の巡回訪問
	III 民間保育施設向けの研修の企画・実施	研修カリキュラムの作成 合同研修会の開催検討 定期的な情報交換会の開催検討 公立・民間の保育士交流会の開催検討 各種マニュアルの共有化 相互派遣研修による民間保育施設の若手の育成及び保育技術の共有化の検討 対応困難ケース会議・検討会の開催検討 研修参加のための代替保育・合同保育の検討
		IV 地域型保育事業所の連携施設
3 保育のセーフティネット	I 複雑な家庭環境や比較的重度の障害・アレルギー等により、特別な対応が必要な子どもの適切な受入れ	専門的な研修の実施 重度の障害を持つ児童を受け入れることが出来る特化園の設置検討 療育との両立の検討
		II 不適切な養育や児童虐待の早期発見及び子ども家庭支援センター等の専門機関とのスムーズな連携、民間保育施設と専門機関との連携支援
	III 民間保育施設が何らかの事情で急遽閉鎖する場合等の入所児童の受け皿	弾力化定員の調整等による受皿の確保の検討
	IV 災害時の地域の子ども及び保護者の受け入れ	災害時に公立保育園と民間保育施設間で協力・連携できる体制の構築 避難訓練等の合同検討結果に基づく対応と反省点、課題等の共有
4 在宅で子育てをする家庭への支援	I 在宅で子育てをする家庭(保護者)が必要としている支援の把握と実施	公開保育の実施検討 公園等での公立保育園の子どもと合同での青空保育等の実施検討 一時保育の拡充(レスパイト利用枠の検討) 利用者支援の充実
		II 在宅で子育てをする家庭(保護者)が必要としている情報の把握と提供
	III 在宅で子育てをする家庭への施設・設備の開放	園庭開放の充実(相談へのつなぎ)の検討 子育て家庭が参加可能な行事の充実の検討
	IV 保育士・栄養士・看護師等の専門職による子育ての相談・助言	専門職による育児相談や育児講座の充実
	V 他の公的機関へのつなぎ役	健康課・子ども家庭支援センター・公立保育園等の役割分担の整理 スムーズに連携体制を構築するための子ども家庭支援センター・ひいらぎ等の公的機関への公立保育園の保育士等の派遣研修の実施検討